製品カタログ

周波数コンバータ

RF 周波数変換器は LO とミキサ段を用いて、指定された RF 帯域と IF 帯域の間で信号を変換します。周波数計画では希望出力、イメージ、LO 漏れ、混変調スプリアスを区別します。



製品: 3

改訂: 2 · 改訂日: 2026-11-11



LCMIXD-10700-12750

10.7–12.75 GHz 2チャネルRFダウンコンバータモジュール

10.7–12.75 GHzのRF入力を1.7–3.75 GHzのIF出力へ変換する2チャネルモジュールです。変換利得は最小50 dB、雑音指数は最大1.8 dB。9 GHzの内部局部発振器を備えています。

RF入力周波数: 仕様: 10.7–12.75; 単位: GHz

IF出力周波数: 仕様: 1.7–3.75; 単位: GHz

ダウンコンバージョン変換利得: 仕様: 50 (最小); 単位: dB

雑音指数: 仕様: 1.8 (最大); 単位: dB

製品詳細　製品データシート



LCMIXD-2000-18000

2–18 GHz SPI制御広帯域RFダウンコンバータモジュール

2–18 GHzを固定中心周波数1.8 GHzのIFへ変換する広帯域RFモジュールです。変換利得は最小28 dB。SPIでフィルタと減衰量を設定し、変換段には2系統の外部LO入力を使用します。

RF入力周波数: 仕様: 2–18; 単位: GHz; 注記: 広帯域

IF出力中心周波数: 仕様: 1.8; 単位: GHz; 注記: 固定

変換利得: 仕様: ≥28; 単位: dB; 注記: 最小値

雑音指数: 仕様: ≤12; 単位: dB

製品詳細　製品データシート



LCMIXUD-380-18000-2G

内部LO搭載 0.38–18 GHz RFアップ／ダウンコンバータモジュール

独立したアップ変換・ダウン変換経路で0.38–18 GHz RFと3.6 ±1 GHz IFを接続し、最大2 GHzの瞬時帯域幅に対応します。両経路で0.38–4.6 GHzの直接通過が可能で、内部LOとSPI制御を備えます。

RF入力周波数: 仕様: 0.38–18; 単位: GHz; 注記: 広帯域RF入力

変換IF出力帯域: 仕様: 3.6 ±1; 単位: GHz; 注記: 公称中心周波数3.6 GHz

RF直接出力帯域: 仕様: 0.38–4.6; 単位: GHz; 注記: 周波数変換を行わない独立出力経路

瞬時帯域幅: 仕様: 最大2; 単位: GHz; 注記: 原資料の本文。変換IF動作

製品詳細　　製品データシート

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。